

岐阜大学講義「景観デザイン」（工学部社会基盤工学科）

最終課題 公開発表会のお知らせ

平素よりお世話になっております。

日頃より本学の教育・研究活動にご支援いただきありがとうございます。

本学工学部社会基盤工学科は、柳ヶ瀬周辺の市街地を題材に、まちの景観デザインを提案する課題の、公開発表会を下記の日程で予定しております。まだまだ技術者としても未熟な学生たちの提案ですが、明日の柳ヶ瀬を思っ一連の演習に取り組んだ学生たちの作品が揃いますので、ご案内いたします。

つきましては、取材方よろしくお願いたします。

開催日時： 2014年12月11日（木） 10:30~12:00

開催場所： 柳ヶ瀬あい愛ステーション

見学参加： 自由（公開講義）

- 受講者は、主として岐阜大学工学部社会基盤工学科の2年生たちで、50名程度です。
- 担当は、社会基盤工学科の出村嘉史（准教授）、専門は景域計画、都市形成史です。
- 講義「景観デザイン」（後期開講科目）で学生たちは、「景観とはなにか*」「景観の構造」「人の集まる空間のデザイン」「水と緑のデザイン」「歴史とデザイン」「色彩計画」などについて、学習しました。現在この講義の後半に、実際のまちを対象にした演習として、柳ヶ瀬の再生デザインに取り組んでいるところです。

- これからの柳ヶ瀬をどのようにすべきか、ポスター（A1程度）と模型表現による提案が課題です。
- 柳ヶ瀬を対象にした演習は、今年度で3度目です。それまでは、大学キャンパスを対象にした演習を行っていましたが、昨年度から岐阜駅前のサテライトキャンパスで講義を行うようになり、それを機会に実際の市街地における演習へ切り替えました。

□この最終課題の発表をまちに対して公開プレゼンとするのは、ある程度のリアリティと責任を感じつつ提案を構想する教育効果と、それらの提案がまちの方々の発想を刺激する効果が狙いです。

【本件に関する問い合わせ】

岐阜大学工学部社会基盤工学科

出村嘉史 准教授

電話：058-293-2446

メール：demu@gifu-u.ac.jp